

ごみ排出量の将来推計

ごみ処理施設は、一度建設すると数十年運用されることとなります。地域の人口は出生率や死亡率、移住者数などによって変動し、高齢化や都市圏への集中といった傾向も顕著になっています。これらの要素を踏まえた将来推計は、必要なごみ処理能力や施設規模を適切に設定する基礎資料となります。

第4次函館市一般廃棄物処理基本計画では、推計の基礎として国立社会保障・人口問題研究所による人口推計を用いましたが、新廃棄物処理システムの検討にあたっては、令和6年度に改訂された「函館市人口ビジョン」を基に推計を行うこととしました。

また、突発的に発生した臨時ごみおよび日乃出清掃工場の改修工事の影響を除外した過去5年間（2019年度（令和元年度）～2023年度（令和5年度））のごみ排出量を用い、現行の市民生活や事業活動が継続することを前提に、各種施策の実施による減量化や再資源化の効果を排除して推計しました。

総排出量推計

単位：t

	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)	
人口(9月末)および推計人口	233,112	229,512	225,912	222,311	218,711	215,111	211,591	208,072	204,552	201,033	197,513	
排出量 家庭系	燃やせるごみ ①	41,267	40,629	40,102	39,355	38,717	38,080	37,560	36,834	36,211	35,588	35,061
	燃やせないごみ ②	6,722	6,618	6,532	6,410	6,307	6,203	6,118	6,000	5,898	5,797	5,711
	缶・びん・ペットボトル ③	3,999	3,937	3,886	3,814	3,752	3,690	3,640	3,569	3,509	3,449	3,398
	プラスチック容器包装 ④	2,553	2,513	2,481	2,434	2,395	2,355	2,323	2,278	2,240	2,201	2,169
	粗大ごみ ⑤	596	586	579	568	559	550	542	532	523	514	506
	雑ごみ ⑥	170	168	165	162	160	157	155	152	149	147	145
	小計 (A)	55,307	54,451	53,745	52,743	51,890	51,035	50,338	49,365	48,530	47,696	46,990
	集団資源回収 (B)	6,041	5,948	5,871	5,761	5,668	5,575	5,498	5,392	5,301	5,210	5,133
	計 (A)+(B)	61,348	60,399	59,616	58,504	57,558	56,610	55,836	54,757	53,831	52,906	52,123
	家庭系原単位(g/人・日)	721	721	721	721	721	721	721	721	721	721	721
資源物以外(①+②+⑤+⑥)原単位	573	573	573	573	573	573	573	573	573	573	573	
資源物(③+④+⑦)原単位	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	
排出量 事業系	燃やせるごみ ⑦	32,996	32,996	33,086	32,996	32,996	32,996	33,086	32,996	32,996	32,996	33,086
	燃やせないごみ ⑧	1,679	1,679	1,684	1,679	1,679	1,679	1,684	1,679	1,679	1,679	1,684
	びん・ペットボトル ⑨	949	949	952	949	949	949	952	949	949	949	952
	プラスチック容器包装 ⑩	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	尿しき、下水道しき ⑪	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256
	計	35,894	35,894	35,992	35,894	35,894	35,894	35,992	35,894	35,894	35,894	35,992
	事業系ごみ1日当たり排出量(t)	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98
	資源物以外(⑦+⑧+⑩)排出量	96	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95
	資源物(⑨+⑪)排出量	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	ごみ総排出量	97,242	96,293	95,608	94,398	93,452	92,504	91,828	90,651	89,725	88,800	88,115
リサイクル率(%)	14.8	14.8	14.7	14.7	14.6	14.6	14.5	14.4	14.4	14.3	14.2	

人口減少等の影響もあり、各年ごとに減少幅にばらつきはあるものの平均して、毎年【約912.7t】ずつ、ごみの総排出量は減少していきます。

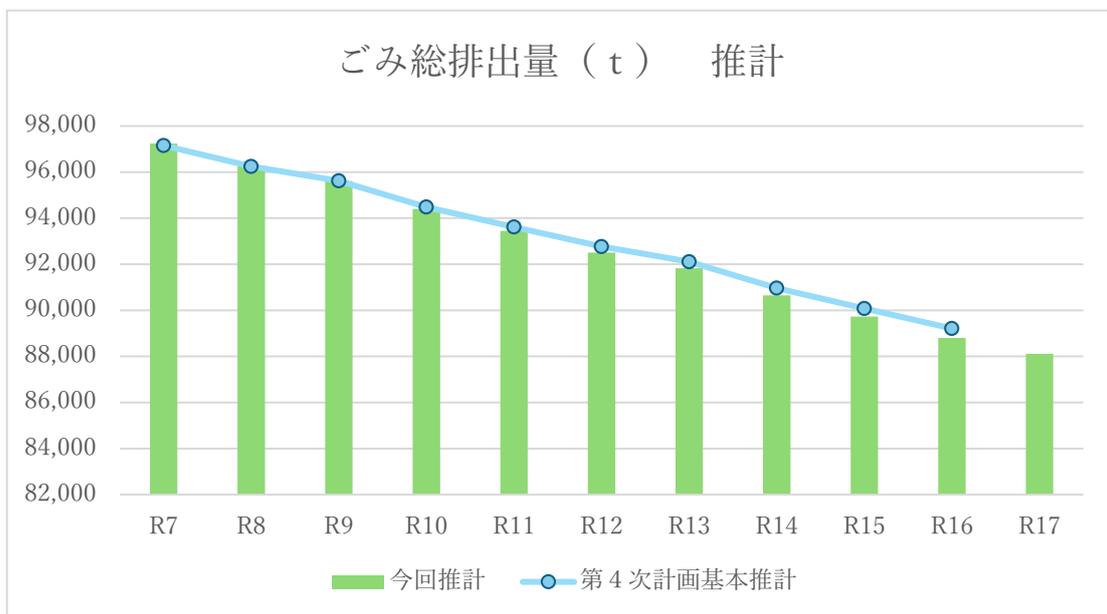
■ 家庭系ごみ

ごみの区分別に、過去5年間（2019年度（令和元年度）～2023年度（令和5年度））の1人1日当たりの排出量の平均を用い、函館市人口ビジョン（令和6年度改訂版）の将来推計人口をもとに推計しました。

■ 事業系ごみ

ごみの区分別に、過去5年間（2019年度（令和元年度）～2023年度（令和5年度））の1日当たりの排出量の平均を用い、年間日数をもとに推計しました。

第4次函館市一般廃棄物処理基本計画との比較



第4次函館市一般廃棄物処理基本計画の基本推計との比較では、人口推計を社人研推計から函館市人口ビジョン（中位推計）へ見直したことによる影響として、全体で若干の減少傾向が見られます。

令和7年度から令和16年度までの10年間のごみの総排出量合計は、第4次函館市一般廃棄物処理基本計画の基本推計で【932,245 t】、今回の推計では【930,503 t】であり、その差は【▲174.2 t/年】となっています。

新施設の供用開始が見込まれる令和17年度の見込み量は、【約88,115 t】となり、推計の開始年度である令和7年度と比較して、【9,127 t, 9.4%】の減少となっています。